

観察性能や耐久性の向上を追求 胆道ビデオスコープ「CHF-B290」を発売

オリンパス株式会社(社長:竹内 康雄)は、膵胆管疾患の診断・治療に用いる胆道ビデオスコープ「CHF-B290」を2019年5月24日(金)から国内で発売します。高画質かつ耐久性の高いスコープで膵胆管を直接観察することによって、より確かな疾患の診断・治療をサポートします。

本製品は、十二指腸スコープの鉗子挿通用管路※1に挿入して使用する細径スコープです。先端部外径 3.3mm のため、細い膵胆管内を直接観察したり、組織を採取したりすることができます。

今回発売する「CHF-B290」は、近点の画質を強化し、耐久性・操作性の向上を実現しました。これにより、膵胆管疾患のさらなる診断性能向上に貢献します。

なお、本製品は5月31日(金)から6月2日(日)まで東京で開催される第97回日本消化器内視鏡学会総会(会長:昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 井上 晴洋 教授)に出展します。

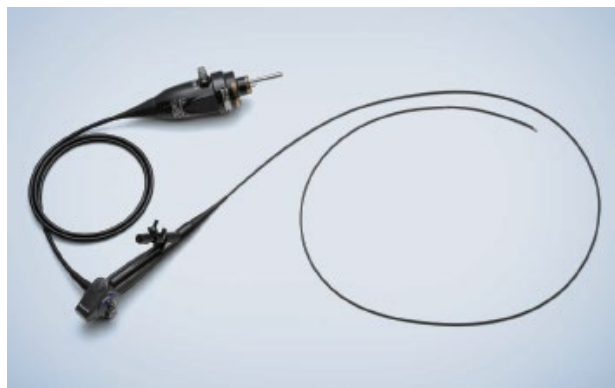
※1 内視鏡を通じてさまざまな処置具を挿入し、内視鏡の先端から出すための管路。

●発売の概要

販売名	発売予定日
EVIS LUCERA ELITE 胆道ビデオスコープ OLYMPUS CHF-B290	2019年5月24日

●主な特長

1. 近点画質の強化により、精度の高い診断に貢献
2. 耐久性・操作性の向上により、安定した手技をサポート



胆道ビデオスコープ「CHF-B290」

製造販売元はオリンパスメディカルシステムズ㈱です。

●開発の背景

膵胆管は消化管の中でも非常に細い管で、人体の奥深い位置に存在するため、診断・治療が困難な部位です。また、近年、膵臓・胆道癌をはじめ、膵炎・胆石などさまざまな疾患が増加している部位でもあります。膵胆管の診断は、十二指腸まで挿入した内視鏡から膵胆管に造影剤を注入し、X線下で観察する方法が主流です。一方で、胆道スコープを用いた場合は、病変を直接観察したり、病変の良悪性を鑑別するための組織生検を行ったりすることが可能になります。今回発売する CHF-B290 は、近点画質の強化や耐久性の向上を実現したことにより、膵胆管疾患の診断性能向上に貢献します。

●主な特長の詳細

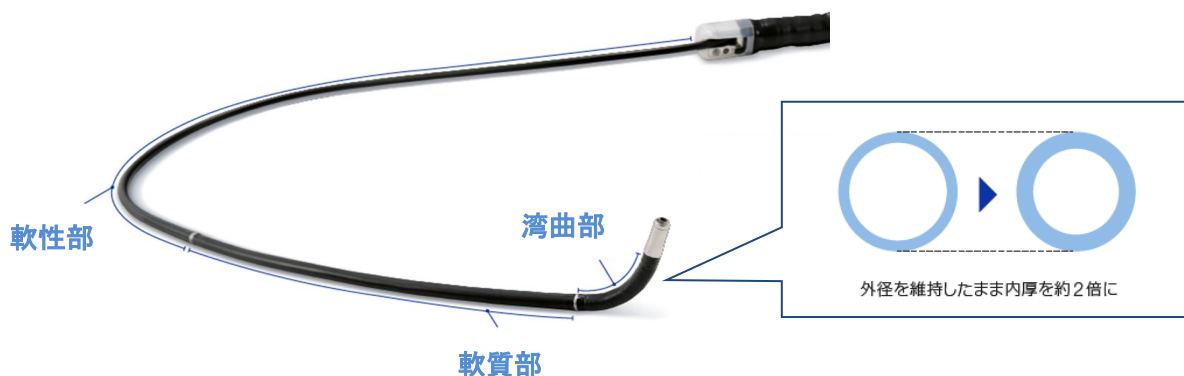
1. 近点画質の強化により、精度の高い診断に貢献

膵胆管は細く狭いため、スコープと観察対象の距離が近すぎてピントが合わないことがあります。特に隆起した病変などは、スコープと一定の距離をとるのが難しい場合があります。CHF-B290 は、観察深度^{※1}を従来の 3～20mm から 1.5～20mm に見直し、今まで以上に近接した観察が可能になりました。また、粘膜表面の微細な血管やその模様がより見えやすくなる、オリンパス独自の画像強調技術「NBI」にも対応。より高精度な膵胆管の診断に貢献します。

※1 ピントが合った状態で観察できるレンズと被写体の距離の範囲。

2. 耐久性の向上により、安定した手技をサポート

胆道スコープは非常に細いため、耐久性に課題がありました。CHF-B290 は、先端の湾曲部の外形を細く維持したままゴムの厚さを約 2 倍にしました。また、スコープが柔軟に曲がる「軟質部」を新たに搭載したことで、耐久性の向上に寄与します。さらに、鉗子挿通用管路を 1.2mm から 1.3mm に広げ、処置具の挿入性や膵胆管内を洗浄する際の送水量が向上しました。管路を広くしたことで処置具との摩擦が軽減され、管路の破損軽減にも貢献します。耐久性と操作性の向上により、安定した手技をサポートします。



100
YEARS

オリンパスは本年 10 月 12 日に創立 100 周年を迎えます。

これまで当社の発展を支えてくださったお客さまをはじめ、ステークホルダーの皆さまに心より感謝申し上げます。これからも世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現を通して、社会に貢献してまいります。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。